

白バラよこはま

No.47

平成29年2月発行

編集・発行

横浜市明るい選挙推進協議会
 横浜市中区港町 1-1 ☎045 (671) 3335

▶【保土ヶ谷区】ほじがやバンドパトル



◀【南区】参院選街頭啓発「ザ・イコット」



▶【泉区】参院選駅前啓発（中学生ボランティア）

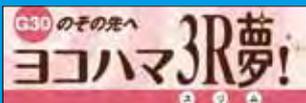


◀【戸塚区】明るい選挙講演会



目次

推進委員・推進員の心得	2
各区今年度の事業	3～20
選挙権年齢の18歳以上への 引下げによる取組	21
横浜市今年度の事業	22～23
生涯にわたる主権者教育連続講座	24
横浜市・区明るい選挙推進大会（平成27年度）	25
参議院議員通常選挙の区別投票率	26
各選挙における投票率	27
選管ホームページ等の紹介	28



明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意・お願い～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意思が正しく政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員の皆様が活動をしていく上で注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するために始まった一つの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり、逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とは、はっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

Q：某候補は、明るい選挙推進運動の趣旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

次の活動についても、積極的に実施していただくようお願いします。

- 期日前投票所や当日投票所の投票立会人等への従事
- 自治会・町内会における投票制度に関する広報、アドバイス

これらの活動には、「明るい選挙推進のためのハンドブック」を御活用ください。



鶴見区

鶴見区明るい選挙推進協議会は、「投票率の向上」と「不正のないきれいな選挙の実現」を目指し、様々な啓発事業を実施しています。選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、若年層の選挙・政治に対する意識向上がより一層求められていることから、若い世代に向けた選挙啓発に特に力を入れています。

7月に執行された参議院議員選挙では、今回初めて区内大学に選挙事務の従事を依頼し、32名の大学生が参院選の開票作業に従事しました。また、育児教室にて啓発チラシ・グッズを配布し、子育て世代に投票の呼びかけを行いました。

10月に開催された「つるみ臨海フェスティバル」では、謎解きゲームを実施し、参加者にゲームのストーリーを通じて投票の意味・大切さについて楽しみながら学んでもらえるよう工夫しました。

鶴見大学の学園祭である「紫雲祭」で実施したポスターコンテストでは、来場者数が過去最多の800人となり、多くの方に投票器材に親しんでもらうことができました。

今年度は新規事業として、横浜サイエンスフロンティア高等学校と東高等学校にて出前授業を実施し、候補者の選び方等についての講義と模擬投票を行いました。

今後も引き続き、選挙への関心が高まるような啓発活動を行ってまいります。

▼ つるみ臨海フェスティバル謎解きゲーム



▲ 横浜国立東高校における出前授業

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年5月	推進委員総会	平成27年度の事業報告を行うとともに、平成28年度の事業計画を審議した。
8月	鶴見川花火大会(鶴見川サマーフェスティバル)	鶴見川花火大会に協賛し、プログラムに啓発文を掲載することにより、明るい選挙推進協議会のPRを行った。
10月	つるみ臨海フェスティバル	つるみ臨海フェスティバルで若年層に人気のある謎解きゲームを実施した。参加者には啓発グッズを配布した。
10月	鶴見大学紫雲祭	鶴見大学の大学祭である紫雲祭にて、紫雲祭実行委員会と連携して投票器材を利用したポスターコンテストを実施した。また、紫雲祭のパンフレットに選挙啓発文を掲載した。
11月	中学校生徒音楽会	区内の中学生が参加する音楽会にて、明るい選挙推進協議会のPRを行うとともに、選挙啓発文を掲載したプログラムを配布し、将来の有権者への動機づけを図った。
12月	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校における出前授業	3年生205名を対象に、候補者の選び方について講義し、模擬投票を実施した。
	横浜市立東高等学校における出前授業	全校生徒750名を対象にNPO法人Youth Create代表の原田謙介氏を講師に招き、若者を取り巻く政治状況や政治参加の重要性や候補者の選び方についての講義と模擬投票を実施した。
平成29年1月～3月	鶴見区明るい選挙標語コンクール	小中学生を対象に冬休み期間を利用して選挙に関する標語のコンクールを実施し、選挙に関する意識の向上を図る。
	せんぎょフォーラム	中学校にて出前授業を行い、将来の有権者への動機づけを図る。
通年	イコットNEWS発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙結果の報告を中心に掲載、発行する。
	投票器材の貸出	区内の中学校・高校に投票器材を貸し出し、将来の有権者への動機づけを図る。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	各種広報	鶴見区のTwitterにて選挙権年齢の引下げと投票への参加を呼びかけるとともに、鶴見駅の東西自由通路の展示スペースや区役所の各フロアの掲示板上に、選挙権年齢の引下げをPRする選挙啓発ポスターを掲示した。また、育児教室にて啓発チラシ・グッズを配布した。
	街頭啓発「ザ・イコット」	各地区の推進員が作成した計画を元に、区内12地区にて街頭啓発を実施した。参加者：計222名 鶴見駅にて街頭啓発を実施した。参加者：計31名



◀ 鶴見大学紫雲祭ポスターコンテスト

神奈川県 神奈川区

神奈川区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現を目的に、主に「区民啓発事業」と「若年層啓発事業」に力を入れて活動しています。

区民啓発事業としては「かながわ湊フェスタ」、「横浜 FC ECO パートナー DAY」、「神奈川区民まつり」といったイベントに参加し、選挙マスコットのイコットちゃんによる選挙の PR やイコットちゃんをデザインした啓発物品の配布により、投票参加の呼びかけを行いました。

若年層啓発事業では、10月に実施された「神大フェスタ」に神奈川大学の学生と共同で参加し、似顔絵の贈呈やパネルの掲示、啓発 DVD の放映等を行いました。

また、将来の有権者へ選挙の大切さを伝える主権者教育として、5月には浅野高校で、11月には神奈川中学校で出前授業を行いました。

今後は、区内市立小学校を対象として模擬投票開票を中心とした出前授業を実施するとともに、地域で活躍されている推進員の皆様向けに研修会を実施する予定です。

引き続き、推進員の皆様と連携しながら明るい選挙実現のため各種活動に積極的に取り組んでいきます。

▼ 神大フェスタでの選挙の PR 活動



● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成 28 年 4 月	イオンブース出展	選挙権の引き下げや、選挙に関する情報をお知らせし、投票参加を呼びかけました。
5 月	浅野高校での出前授業の実施	選挙の授業を行い、投票参加の意識の向上を図りました。
	かながわ湊フェスタへの参加	輪投げゲーム、イコットちゃんの着ぐるみを用いて選挙の PR 活動を行いました。
8 月	横浜 FC ECO パートナー DAY への参加	試合のハーフタイムなどの機会を通じて明るい選挙を呼びかけました。
10 月	神奈川区民まつりへの参加	手紙作成コーナーや、啓発パネルの掲示、似顔絵の贈呈等を通じて、選挙の PR 活動を行いました。
	神大フェスタへの参加	来場者への似顔絵の贈呈、イコットちゃんの着ぐるみを用いて主に若年層への選挙 PR 活動を行いました。
11 月～平成 29 年 3 月	区内各校にて選挙フォーラムへの参加	小中学校の生徒を対象に出前授業と模擬投票開票体験を実施予定です。(小学校 19 校、中学校 1 校)
	研修会の実施	推進員を対象に研修会を実施する予定です。
通年	イコット通信の発行	隔月の年 6 回、協議会の活動や投票制度に関するお知らせを発行しています。
	選挙機材の貸し出し	将来の有権者への関心を高めるため、区内小中高等学校への選挙機材の貸し出しを行っています。
	推進員の活動支援	啓発用物品を作成し、推進員の皆様のお住まいの地域での啓発活動に役立ててもらいました。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	東神奈川駅周辺と六角橋商店街において、推進員の皆様とともに投票参加を呼びかけました。
	啓発広告掲載	地域情報誌（タウンニュース）に投票日や期日前投票に関する記事を掲載しました。
	啓發文の掲出	YOU テレビのデータ放送と庁内の電光掲示板、神奈川区 HP を利用して、期日前投票と投票日の周知を行いました。
	自治会町内会を経由した啓発	各自治会町内会の掲示板に啓発ポスターを掲出するとともに、チラシの回覧をしました。
	区役所内での啓発	庁舎の外壁に啓発懸垂幕を設置し、投票の情報を掲出しました。
	横浜 FC 区民 DAY での啓発	来場者に選挙情報をお知らせし、選挙への意識の向上、周知を図りました。
	イコット通信臨時号の発行	奇数月に発行していたイコット通信を携帯しやすいポケットサイズにして 6 月に臨時号として発行しました。
	広報よこはま神奈川区版によるお知らせ 各地域での啓発	選挙に関する特集を組み、投票制度や選挙に関する情報を発信しました。 推進員の皆様がお住まいの地域で投票参加を呼びかけました。



▲ 街頭啓発「ザ・イコット」



▲ 浅野高校での出前授業

西 区

西区では、明るくきれいな選挙の実現と、投票参加をより一層推進するために、各種啓発事業を行っています。

今年度は7月に参議院議員通常選挙がありました。区内の各地区で街頭や地域行事等での啓発を行い、多くの推進員が活躍しました。

11月の西区民まつりでは、野毛山動物園と共同でブース出展し、野毛山動物園の動物人気投票を行いました。実際の投票箱と記載台を使用した模擬投票では子どもから大人までたくさんの方々に投票していただきました。今年は652票もの投票があり、選挙のしくみなどについて知ってもらう有意義な催しとなりました。

若年層向けの啓発事業としては、中学校及び小学校でせんきょフォーラムを行っています。軽井沢中学校では、フォーラムと生徒会選挙を連携して実施しました。生徒は最も身近な生徒会選挙の中で実際とほぼ同様の選挙を体験することができ、18歳になったとき、本番で投票するイメージをつかめたようでした。今年度はこのほか、岡野、老松の両中学校と平沼小学校で実施しました。

また、12月には西区明るい選挙推進大会を開催しました。今年度は神奈川新聞社統合編集局次長兼紙面研究室長の石曾根剛氏を講師に招き、講演を行っていただきました。

同月、「ハマのウォーキングフェスティバル」と連携し、参加者に配布する参加証ホルダーに貼ったシールで来年執行予定の市長選挙の周知を行いました。

▼ 区民まつりで行った動物選挙の様子



▶ ハマのウォーキングフェスティバルで配布した参加証



● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年4月	みなとみらい21 さくらフェスタ2016	選挙マスコットであるイコット Jr. がさくらパレードに参加し、選挙のPRを行った。
5月	定例会	前年度の事業実績、決算の報告、及び当該年度の事業計画案、予算の審議を行った。
11月	西区民まつり	野毛山動物園の動物の人気投票を行い、将来の有権者を含めた区民に対して、模擬投票を通じ、選挙への関心を高めた。
	せんきょフォーラム	講義や模擬投票を通じて、選挙の意義を認識し、投票に対する意識を高めることを目的に開催した。 11月：岡野中 12月：軽井沢中、老松中 1月：平沼小
12月	ハマのウォーキングフェスティバル	参加者に配布する参加証ホルダーに貼ったシールで来年執行予定の市長選挙の周知を行った。
	西区明るい選挙推進大会	推進委員、推進員の意識高揚並びに連携を深めることを目的に講演を行い、政治・選挙への意識向上を図った。 場所：西区役所
年間	啓発物品の作成・配布	啓発物品(メモ帳)を作成し区民まつり等で配布している。
	学校での生徒会選挙等での実践啓発	中学校生徒会選挙に際して、投票機材を貸し出している。
平成28年11月・3月	明推協だよりの発行	推進委員、推進員の機関紙を発行している。 年2回

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	西区内の各地区において、投票参加を呼びかけ、啓発物品(ポケットティッシュ)を配布した。参加人数：約60人
	広報モニターでの啓発	西区役所や横浜駅行政サービスコーナーなどに設置されている広報モニターで投票日や期日前投票所の周知を行った。
	広報よこはま西区版による啓発	広報よこはま西区版に期日前投票所の日時・場所等を中心に掲載し、PRを行った。

▼ 参院選街頭啓発「ザ・イコット」



中 区

中区明るい選挙推進協議会では、今年度も様々な常時啓発事業を実施し、投票率の向上を目指しました。

春から秋にかけては「tvk 秋じゃないけど収穫祭」や中区民祭り「ハローよこはま」といった大規模なイベントに参加することで幅広い世代の方に選挙に触れてもらうことが出来ました。

また、小中学生に選挙の大切さを知ってもらうために行っている「中区明るい選挙推進作文コンクール」を今年も実施しました。このコンクールは、今回で36回目を迎えますが、938作品の応募がありました。応募作品の中から厳正な審査の上で入賞作品を決定し、12月には入賞者を招いて中区役所で表彰式を行いました。

この他にも小中学校への投票器材の貸出しや高校文化祭への参加など、将来の有権者である若年層への働きかけを重視した啓発事業を実施しています。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年5月	tvk 秋じゃないけど収穫祭	日本大通りで開催された「tvk 秋じゃないけど収穫祭」で模擬投票を行い、732人の方に投票していただきました。
9月	せんぎょフォーラム	横浜市立本牧中学校の選挙管理委員会の生徒を対象に選挙についての出前授業を行いました。
10月	高校文化祭への参加	横浜市立みなと総合高等学校の文化祭に参加し、「翌年の文化祭に来るマスコット」を決める選挙で459人の方に投票していただきました。
10月	中区民祭り (ハローよこはま)	横浜公園・日本大通りで開催された中区民祭り「ハローよこはま2016」に参加し、マスコットキャラクターの人気投票を行いました。人気投票には15体のマスコットが参加し、951人の方に投票していただきました。
通年	中区明るい選挙推進作文コンクール	区内在住・在学の小中学生を対象に、選挙やまちづくりをテーマとした作文コンクールを実施しました。12月には入賞者を招いて中区役所で表彰式を行いました。 応募作品数：938作品
通年	明推協通信「イコットニュース」発行	推進員への情報提供と選挙啓発意識向上を目的とした機関紙を発行しています。(年3回)
年間	投票器材の貸出し	区内の企業・学校等へ実際の選挙で使用している投票器材の貸出しを行っています。

▼ tvk 秋じゃないけど収穫祭



▼ みなと総合高校文化祭



●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発 「ザ・イコット」	7月2日(土) 中区明るい選挙推進委員、推進員56名が参加し、啓発用のポケットティッシュを配布しながら選挙期日の周知と投票参加の呼びかけをしました。 ・本牧地区、伊勢佐木地区(各1回)

▼ ハローよこはま



南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、啓発活動を行っています。

7月には、南区の夏の風物詩である「南まつり」において、選挙ブースを出展し、選挙器材を使用して横浜市マスコットの人気投票を行い、多くの親子連れに参加していただきました。

9月には、明るい選挙映画会を開催し、若い有権者と将来の有権者に向けた啓発活動を行いました。また、映画の上映前に選挙功労者表彰も行いました。

10月には、初めて高校文化祭に参加し、教室を使って、選挙クイズとボール投げゲームを実施しました。ステージでは、イコットJr.の着ぐるみを使って、次回の市長選に向けた選挙のPRを行いました。

11月には、国会議事堂（参議院）へと出向き、推進員研修会を行いました。

また、南区明るい選挙推進協議会のマスコットキャラクターの「まねっきー」と啓発標語が掲載されたポケットカレンダーを作成、配布しました。

秋の「南区文化祭」、「ボイス・オブ・ユース（青年の主張）」や、南区春の一大イベントである「桜まつり」にも協賛し、小学生から有権者の方まで幅広く呼びかけを行っています。

12月には、せんきょフォーラムとして、小学6年生を対象に給食のメニューを決める模擬選挙を実施しました。

▼ 参院選街頭啓発「ザ・イコット」



▲ 南まつり

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年7月	南まつり	選挙器材を使用して、横浜市マスコットの人気投票を実施。参加者には投票用紙型のメモ帳を配布。 参加者：約400名
9月	明るい選挙映画会	映画会を開催し、アニメ映画「ミニオンズ」を上映。併せて、投票管理者・立会人を永年にわたって務めた方に対して選挙功労者表彰を実施。 参加者：約200名
10月	高校文化祭への出展	横浜商業高校の文化祭に2日間出展し、教室にて選挙クイズと、正解した数だけボールが投げられるゲームを実施。参加者には啓発物品を配布。 2日目には屋外ステージにて、イコットJr.の着ぐるみを使った選挙PR活動を実施。 参加者：約800名
10月、11月	区文化祭、ボイス・オブ・ユース	南区恒例の文化行事に協賛し、配布物に啓発標語などを掲載。
11月	“まねっきー”クリーン選挙PR事業	広く区民にきれいな選挙と積極的な投票参加を呼び掛けるため、当協議会のマスコット“まねっきー”と啓発標語の入ったポケットカレンダーを作成。
11月	推進員研修会	推進委員及び推進員の相互理解と親睦を深め、組織強化を図るため、選挙や政治に関連する国会議事堂（参議院）への施設見学会を実施。
12月	せんきょフォーラム	小学6年生を対象に、出前授業と投票から開票までを児童に体験してもらう模擬投票を実施（日枝小学校）。

開催月	事業名	事業内容
平成29年3月	桜まつり	南区春の風物的行事「桜まつり」の会場である大岡川沿いの桜並木に、選挙啓発標語入りの「ぼんぼり」を掲げる予定。
通年（6月、10月、2月）	明推協だより発行	明推協の事業内容や活動報告を機関誌にまとめ、推進委員及び推進員に年3回発行。
年間	選挙器材貸出	未来の有権者の選挙への関心を高めるため、生徒会選挙等へ選挙器材を貸出。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	横浜橋通商店街、弘明寺商店街、イトーヨーカドー横浜別所店の3か所で、啓発用ポケットティッシュを配布。 実施日：平成28年7月3日 午前10時から午後4時まで 参加者：約20名

▶ 横浜商業高校文化祭（V校祭）



港 南 区

港南区明るい選挙推進協議会では、主に若年層を対象とした啓発活動に力を入れています。今年度は選挙権年齢が18歳以上となって初めての国政選挙を迎えた年のため、特に高校生への啓発に力を入れました。

3月には横浜市内では初めてとなる、現役高校生が選挙啓発について自ら発案し、継続的に選挙啓発に関わっていくための若者会議を発足しました。この会議で選挙啓発ポスターの作成が提案され、8月の参議院議員選挙前にお披露目されました。

4月・10月には区内2つの高校で、架空の都市における市長選挙という題材で模擬投票を行いました。

9月から11月にかけては、区内4校の高校文化祭に選挙啓発ブースを出展し、実際に使用している選挙器材を用いて選挙クイズを実施しました。たくさんの現役高校生たちが、パネル展示を参考にしつつクイズに挑戦してくれました。

11月のこうなん子どもゆめワールドでは、晴天に恵まれた中で選挙クイズを実施し、子供から大人まで、たくさんの方で賑わいました。

平成29年1月から2月には、せんきょフォーラムで区内4校の小学校と1校の高等特別支援学校にて、模擬選挙を実施します。本物の選挙器材に触れながら、身近なテーマで本番さながらの模擬選挙を行う予定です。

▼ こうなん子どもゆめワールド



▲ 南高校 出前授業

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年 4月、10月	区内高校出前授業	区内2つの高校で選挙についての講義を行い、実際に投票を経験してもらった。
5月	明るい選挙推進協議会委員会	平成27年度の事業報告、平成28年度の事業計画等の審議を行った。
6月	明るい選挙推進大会・研修会	明るい選挙推進についての決議文採択、及び、講師に原田謙介氏を招いて18歳選挙権についての研修を行った。
8月ほか	若者会議	区内5校の高校から参加者を募り、現役高校生が選挙啓発について議論・検討し、自ら発案する会議を開催した。また、参議院議員通常選挙に合わせて啓発ポスターを作成し、区内の駅や行政サービスコーナーなどに掲示した。
9月～11月	区内高校文化祭での選挙啓発ブース出展	区内4校の高校文化祭に選挙啓発ブースを出展し、選挙クイズ、啓発パネルの展示、啓発物品等を配布した。
11月	こうなん子どもゆめワールド選挙啓発ブース出展	選挙クイズを実施し、景品や啓発物品を配布した。
平成29年 1月～2月	せんきょフォーラム(模擬選挙)	区内4校の小学校及び1校の高等特別支援学校で、児童・生徒を対象に、卒業生を送る歌や、ゆるキャラなど、多岐にわたるテーマで模擬選挙を実施する予定。
年3回	明推協だよりの発行	推進委員・推進員を対象に、事業計画・事業報告、各種イベントの案内・報告等を掲載した。
通年	啓発物品の作製	「手回しソーラーライト」を作製し、イベント等で配布した。
	選挙器材貸出	区内の中学校や高校の生徒会選挙等に際し、投票箱や記載台など選挙器材を貸し出した。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	物品設置による啓発(選管事業)	幅広い年齢層が利用する区内の地区センター・コミュニティハウス等に啓発物品のポケットティッシュを設置した。
	広報紙による選挙情報の掲載(選管事業)	広報よこはま・港南区版に、期日前投票と投票日に関する情報を掲載し、周知を図った。
	街頭啓発「ザ・イコット」	上大岡駅前にて、通行人にポケットティッシュを配布し、投票を呼びかけた。

▼ 若者会議



保土ヶ谷区

保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会は『きれいな選挙の実現』と『投票参加の向上』を目指し、啓発活動を行っております。

今年度は7月に執行された参議院選挙から選挙権年齢が引き下げられたことを受け、特に若年層に対する啓発に力を入れました。

5月開催の「ほどがや花フェスタ」ではイコット Jr. の着ぐるみで参院選の啓発を行うと共に、来場者にウェットティッシュを配布しながら、投票参加を呼びかけました。6月から7月にかけて地域住民が集まる「区民会議」において、来場者に参院選の啓発ボールペンを配布し、投票参加を呼びかけました。

10月には、「ほどがや区民まつり」でブースを出店し、『若年層への効果的な啓発手法』に関するアンケートについて、本物の投票箱に投函してもらいました。

11月には、区内高校生が参加する「ほどがやバンドバトル」を実施し、優勝バンドを決める模擬投票や選挙クイズを通して選挙への関心を高めました。

平成29年1月には、「小学校生活最後の給食の献立」をテーマに区内の小学6年生を対象に分かりやすく選挙を体験できる「給食選挙」を実施しました。

さらに、「イベント参加型啓発」を通年でいき、委員や推進員の方々に自治会・町内会で行われるお祭り等で啓発物品を配布していただきました。

▼ほどがや区民まつり



▼給食選挙



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年 5月	ほどがや花フェスタ 来場者への選挙啓発	ほどがや花フェスタの来場者に選挙クイズ付ポケットティッシュを配り、平成28年参院選への投票参加を呼びかけました。
10月	ほどがや区民まつり	県立保土ヶ谷公園で行われたほどがや区民まつりにブース出店し、若年層への効果的な啓発手法に関するアンケートコーナーを設けました。アンケート用紙は本物の投票箱に投函してもらいました。また、アンケート回答者には、景品付きサイコロゲームを楽しんでいただきました。来場者には「投票ヘイコット」と書かれたイコット Jr. のマグネットクリップを配布しました。
11月	ほどがやバンドバトル	青少年指導員協議会と共催し、区内高校生によるバンドコンテストを実施しました。当日は、イコット Jr. の着ぐるみが登場したほか、各バンドによる選挙へのメッセージ、さらには演奏の合間に選挙クイズを行いました。優勝者を決める際には実際の投票箱、記載台を使うなどし、投票・開票を実体験してもらいました。
平成29年 1月	給食選挙	小学6年生を対象にいくつかの給食の献立から、自分が食べたいものを投票してもらい、1番票が多かったものを、小学校最後の給食として提供します。投票には実際の投票箱・投票用紙を使います。(区内小学校3校)
通年	選挙器材の貸し出し	区内中学校等に選挙器材の貸し出しを行い、選挙に親しみをもってもらいます。 ・中学校(5校) ・高校(4校)

開催月	事業名	事業内容
通年	イベント参加型啓発	町内会の祭り等で推進員の方に啓発物品(マーカー100個、ウェットティッシュ1,030個、ボールペン600個合計1,730個)の配布をしていただいています。
年3回	明推協だより	委員・推進員向けの機関紙を発行します。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発 「ザ・イコット」	駅周辺で、ティッシュなどの啓発物品を配布し、選挙期日の周知と投票参加を呼びかけました。 日時：平成28年6月28日(火) 場所：JR保土ヶ谷駅、和田町駅 啓発物品：ポケットティッシュ 参加人数：50人程度



▲ほどがやバンドバトル

旭 区

旭区明るい選挙推進協議会では、今年度も「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発事業を実施しています。

今年度は啓発物品としてハンドタオルと蛍光ペンを作成し、8月に旭区内で開催された「道の日キャンペーン」などのイベントで配布することで、啓発活動に役立てました。

9月と11月には高校文化祭に選挙啓発ブースを出展し、選挙クイズやアンケート、啓発物品の配布等を行うことで、若年層に投票を呼びかけました。

10月には「旭ふれあい区民まつり」に参加し、明るい選挙推進協議会をPRすると共に、あさひくんマンホールの人気投票等を行いました。

12月から1月にかけては、4校の小学校で「旭せんきょフォーラム」を実施し、未来の有権者である小学生を対象とした模擬投票・開票を行いました。

3月には就学前のお子様を対象にした「親子で楽しい音楽コンサート♪」を開催し、子育て世代への投票の呼びかけを行います。

また中学校の生徒会選挙時には、選挙機材や物品の貸出も行ってあります。

今後も「明るくきれいな選挙の実現」を目指して活動していきます。

▼ 四季の森小せんきょフォーラム



▲ 旭ふれあい区民まつり

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年 5月	旭区明るい選挙推進協議会定例会議	平成27年度の事業報告・決算報告および平成28年度の事業計画・予算案について審議を行った。 日時 平成28年5月19日 場所 旭区役所カンファレンスルーム
8月	道の日キャンペーン	旭土木事務所主催のキャンペーンに参加し、啓発用のハンドタオルやボールペン等を配布しながら啓発活動を行った。 日時 平成28年8月10日 場所 相鉄線二俣川駅前第二歩道橋
9月・11月	高校文化祭への出展	啓発パネルの展示、選挙に関するクイズとアンケートや、啓発物品の配布を行った。 平成28年9月10日 旭高校 平成28年11月12日 星槎高校
10月	旭ふれあい区民まつり	区民まつりにブースを設け、あさひくんマンホールの人気投票やスーパーボールすくいを実施し、明るい選挙を呼びかけた。 日時 平成28年10月16日 場所 旭区役所第一駐車場
12月～ 平成29年 1月	旭せんきょフォーラム	区内の小学生を対象に給食のメニュー等、身近な話題をテーマにした模擬選挙を行い、選挙に対する理解・関心を深める。 平成28年12月2日 四季の森小学校 平成28年12月9日 上白根小学校 平成28年12月12日 本宿小学校 平成29年1月13日 笹野台小学校

開催月	事業名	事業内容
3月	親子で楽しい音楽コンサート♪	未就学児向けのコンサートを開催し、子育て世代へ投票の呼びかけを行う予定。 日時 平成29年3月5日 場所 旭区民文化センター サンハート
年間	選挙機材・物品の貸出	区内中学校の生徒会選挙時に、投票箱や記載台、選挙運動用のたすきやのぼり旗等の貸出を行った。
	イコット通信の発行(年3回)	推進委員・推進員への情報提供・イベント参加の呼びかけを目的とした機関紙「あさひイコット通信」を発行。
	企画検討委員会(年3回)	啓発活動の内容について、推進員と企画・検討を行っている。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	二俣川駅構内にて、啓発物品(ポケットティッシュ、ハンドタオル)を配布しながら投票参加を呼びかけた。 日時 平成28年7月2日 場所 相鉄線二俣川駅構内 参加者 20名

磯子区

磯子区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票率の向上を目指し、各種啓発事業を実施しています。

今年度の活動は、7月に執行された第24回参議院議員通常選挙に伴う街頭啓発からスタートしました。

8、9月には、区民文化センター杉田劇場夏祭りで「イコットJr. との記念撮影」ブース、磯子まつりで「選挙クイズ」ブースを設け、幅広い世代を対象に投票参加を呼びかけました。

10月には、「明るい選挙推進員研修会」を開催し、東京大学大学院教授の小玉重夫氏に「18歳選挙権と政治教育」というテーマで講演していただきました。

12月には、区内小学校2校で小学6年生を対象にせんきょフォーラム「給食選挙」を開催しました。給食の献立を公約に掲げた候補者に投票し、実際の給食の献立を決める模擬選挙を行うことで、投票することの大切さを実感してもらいました。

平成29年3月には、「せんきょにいこう!! ワンダー・ワンダー・コンサート」を開催します。0歳から参加できる歌って踊って楽しめるコンサートで、チケット申込み時に曲投票を行ったり、コンサート中にイコットJr. が登場したりと楽しみながら選挙について学べる内容を盛り込んでいます。

また、年間を通して、中学校や高校を対象に投票箱などの選挙器材を貸出し、実際の選挙の雰囲気を体験してもらっています。

▼ 磯子まつり



▲ 明るい選挙推進員研修会

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年 5月	定例会議	平成27年度の事業・決算報告及び平成28年度の事業計画・予算案について審議を行った。 日時：平成28年5月17日(火) 場所：磯子公会堂集会室
8月	杉田劇場夏祭り	「イコットJr. との記念撮影」ブースを設け、来場者には『家族で選挙に行こう!』などと書かれたプレートを持って記念撮影をしてもらうことで、選挙に対する意識を高めてもらった。 日時：平成28年8月27日(土) 場所：磯子区民文化センター杉田劇場
9月	磯子まつり	「選挙クイズ」ブースを設け、選挙に関するクイズを出題し、正解者にくじを引いてもらい、その結果で啓発物品を配布した。 日時：平成28年9月25日(日) 場所：磯子区役所1階
10月	明るい選挙推進員研修会	推進員、推進委員、選挙管理委員を対象に研修会を開催した。講演の中で、グループワークの時間を設け、選挙についての議論を行った。 日時：平成28年10月27日(木) 場所：磯子区役所701・702会議室 講師：東京大学大学院教授 小玉 重夫氏 テーマ：「18歳選挙権と政治教育」
12月	せんきょフォーラム「給食選挙」	若年層への選挙啓発として区内小学校を対象に、選挙についての講演と実際の選挙と同じ器材を活用した模擬選挙を行った。 平成28年12月20日 洋光台第二小学校 平成28年12月21日 森東小学校

開催月	事業名	事業内容
平成29年 3月	親子向け選挙啓発コンサート	選挙啓発の内容を盛り込んだ「せんきょにいこう!! ワンダー・ワンダー・コンサート」を磯子区民文化センター杉田劇場と開催予定。 日時：平成29年3月31日(金) 場所：磯子区民文化センター杉田劇場 出演者：浅野高瑛とハートフル・フレンズ イコットJr. ほか。
年間	生徒会支援事業	区内の中高生に実際の選挙の雰囲気を体験してもらうべく投票箱や記載台を貸出した。
	明推協だよりの発行(年3回)	推進委員・推進員を対象に明推協の機関紙を発行。事業紹介・報告に加え選挙啓発にかかわる内容を掲載している。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	JR根岸駅、磯子駅、新杉田駅、洋光台駅の4駅において、投票参加を呼びかける街頭啓発を行った。 参加人数：74名



せんきょフォーラム ▶

金 沢 区

金沢区明るい選挙推進協議会では、「若い世代に選挙について関心を持っていただくために…」をメインテーマに、様々な啓発事業を企画・実施しています。

まず、18歳選挙権の成立を受け、高校での出前授業を初めて行いました。関東学院六浦高校（5月）、県立釜利谷高校（6月）、市立金沢高校（1月）で実施され、約750名の高校生が選挙について学びました。

また、9月17・18日には市立金沢高校の文化祭へ初めてブース出展をし、模擬投票や選挙クロスワードなどのゲームを通して、選挙に親しみをもってもらいました。

さらに、恒例の若年層に向けた啓発事業として10月15日には区民まつり（いきいきフェスタ）にて、選挙アンケートやミニゲームを行い、10月下旬には横浜市立大学、関東学院大学の学園祭にて、パネル展示や選挙クイズ、選挙缶バッジ製作体験を行いました。

この他にも、各学校への選挙器材の貸出し、区民へ向けた選挙クイズ、市立西柴中学校において「せんきょフォーラム」を開催するなど、さらなる若年層の政治・選挙に対する意識向上を図っています。

▼街頭啓発「ザ・イコット」



▲市立金沢高校文化祭ブース出展



▲横浜市立大学学園祭ブース出展

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年6月	企画検討会	事業活性化と推進員の運営参画の場として開催し、事務局と推進員との間で平成27年度事業の振り返り、平成28年度事業の企画立案の検討を行いました。
	定例会	平成27年度事業結果及び決算の報告、平成28年度事業計画及び予算案について審議を行いました。
9月	市立金沢高校文化祭ブース出展	高校生に選挙の重要性や投票参加を呼び掛けるため、模擬選挙、選挙クロスワード、パネル展示及び啓発物品の配布を行いました。
10月	区民まつり（いきいきフェスタ）への出展	金沢区明推協の活動を周知し、区民の政治・選挙に対する意識向上を図るため、「いきいきフェスタ」に明推協ブースを出展しました。
	関東学院大学学園祭パネル展示	大学生に明推協活動を周知し、投票参加を呼びかけるため、パネル展示と啓発物品の配布を行いました。
	横浜市立大学学園祭ブース出展	大学生に選挙の重要性や投票参加を呼び掛けるため、選挙クイズ、選挙缶バッジの製作体験、パネル展示及び啓発物品の配布を行いました。
11月	せんきょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に講演会を開催しました。 場所：市立西柴中学校 講師：林家 うん平（落語家）
平成29年2月	明るい選挙推進大会・研修会	推進員の政治・選挙の知識を深めていただくため、研修会を行いました。
	選挙クイズ	区民の選挙に対する関心を高めるため、「広報よこはま」金沢区版および区役所HPに選挙に関するクイズを掲載し、正解者に抽選で記念品を贈呈します。

開催月	事業名	事業内容
年間	高校での出前授業	関東学院六浦高校や県立釜利谷高校、市立金沢高校にて高校生に選挙の重要性や投票参加を呼び掛けるため、18歳選挙権や選挙の仕組みに関する講演を行いました。また、立候補者による個人演説を聴き、投票をしてもらう模擬投票も行いました。
	明推協にゆうす発行	事業に関する情報提供や意識向上のため推進委員・推進員に機関紙を発行しています。 (年4回：6月、8月、12月、3月) ・事業計画及び結果報告 ・各種事業案内 ・選挙結果報告 等
	選挙器材貸出し	学生の選挙への関心を高めるため、区内学校で行われる生徒会役員選挙等に実際の選挙器材を貸し出しています。
	横浜ベイサイドマリナーへの啓発物品設置	青年有権者層が集まる横浜ベイサイドマリナーに選挙参加を呼び掛けるため、啓発物品（選挙マスコット「いこあら」ウェットティッシュ）を設置しました。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	推進委員・推進員及び事務局が啓発物品を配布しながら投票日の周知と投票参加の呼びかけを行いました。 実施日：平成28年7月5日（火） 場所：京急「金沢文庫」駅周辺 参加者：20名

港 北 区

港北区明るい選挙推進協議会では、区民の方々のより一層の選挙・政治意識の向上が図られるよう様々な事業を行っています。

参議院選挙では、横浜市内初となる、大学（慶應義塾大学）に期日前投票所の設置を行い、推進委員・推進員の方々には啓発活動や投票立会人などの投票所運営にも御協力いただき、多くの有権者に利用されました。

そのほかにも、以下の事業を実施しました。

4月に、「大倉山さくらまつり」や「城郷小机城址まつり」にて参議院選挙のアピールを行いました。

6月から7月にかけて、「推進員向け研修」を開催し、啓発活動等について自由闊達な意見交換を行いました。

9月には、県立港北高等学校の学園祭に参加し、本物の器材に触れ選挙を体験してもらう「模擬選挙」を行いました。実施したアンケートでは、参加者のうち94%が「選挙があったら投票に行く」と回答しました。

10月には、「ふるさと港北ふれあいまつり」にてブース出店し、親子連れに向けて啓発活動を実施しました。あわせて、選挙に関するアンケートを実施することにより選挙への関心を高めていきました。

1月には、区内の小学校6年生を対象にした「せんきょフォーラム」を実施しました。

また、2月には推進大会及び記念講演会を実施します。

今後も協議会の推進委員・推進員の皆様との連携を図り、明るい選挙推進運動のより良いあり方を考え、事業を推進していきます。

▼ ふるさと港北ふれあいまつり



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年 4月	大倉山さくらまつり	啓発物品を配布し、明推協のアピールを実施しました。
4月	城郷小机城址まつり	のぼり旗を掲出し、参議院選挙のアピールを行いました。
4月	港北区明るい選挙推進協議会 定例会議	平成27年度の事業報告及び平成28年度の事業計画の審議を行いました。
6月～7月	推進員向け研修	啓発活動等について自由闊達な意見交換を行い、一人ひとりが選挙の知識を深め、今後の啓発活動について検討しました。今年度実施地区：新吉田・新吉田あすなろ（合同）、城郷、大曾根、師岡、大倉山、綱島（計7地区）参加者：95人
9月	神奈川県立港北高等学校学園祭	本物の投票器材を用いた「模擬選挙」を行いました。来場者数：約200人
10月	ふるさと港北ふれあいまつり	明推協の啓発活動として、選挙のアンケートに回答することで参加できる、スーパーボールすくいのブースを出店しました。場所：新横浜駅前公園 来場者：約600人
平成29年 1月	せんきょフォーラム	駒林小学校で模擬選挙形式のフォーラム事業を実施しました。
2月	港北区明るい選挙推進大会及び記念講演会	きれいな選挙と投票への総参加の実現を目指し、推進委員・推進員が一堂に会します。また、政治や選挙に関する記念講演会を行います。
年2回	企画検討委員会	啓発活動の企画内容について、推進委員・推進員の代表による検討会議を行いました。

開催月	事業名	事業内容
通年	投票器材貸出し事業	小・中学校・高等学校の生徒会選挙の際に記載台、投票箱などの器材を貸出し、選挙の雰囲気を経験してもらいました。（貸出校：11校）
年3回	港北区イコット通信	区明推協の機関紙として発行し、推進員への啓発を図るとともに、事業の紹介、報告等を行います。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	区内の連合町内会の区域ごとに駅前や商店街等を拠点に啓発物品を配布しながら投票参加の呼びかけを行いました。実施場所：日吉、綱島、大曾根、樽町、菊名、師岡、大倉山、城郷、新吉田、新吉田あすなろ、高田地区の駅前や商業施設等（計11地区）参加人数：120人



▶ 港北高等学校学園祭にて

緑 区

緑区明るい選挙推進協議会では、単なる投票参加の呼びかけだけではなく、継続的な投票行動を支える【社会への関心の普及】を全事業共通のコンセプトとして活動しています。ここでは、各事業におけるコンセプトに沿った工夫を紹介いたします。

鴨居桜まつりでのアンケートでは、集まった声が誰に届くのかを参加者に明確に示すことで、自分事として住む街を見つめなおすきっかけを提供しました。

また、高校生向けの出前授業では、講演型ではなく、生徒同士のグループディスカッションを中心としたプログラムを用意し、そのテーマとして、高校周辺の地域課題の解決を設定しました。その他、外国人と地域課題について英会話をするという企画は、学生にとっては、社会・政治について話す気恥ずかしさよりも、近年高まる英語学習のモチベーションが勝るといふ仮説をたてて実施した事業でした。本企画では多くの学生が来場し、真剣に議論を交わしていました。

子育て世代向けのイベントでは、「選挙」という言葉の堅苦しさを解消するため、区内の人気カフェを会場とし、「食」を学ぶワークショップと同時開催にしたほか、小さな子どもを預かる一時保育スタッフも用意しました。

▼【高校出前授業】出前授業の様子

(写真撮影：NPO 法人僕らの一歩が日本を変える。)



▲【高校文化祭】外国人と地域課題について会話をする学生

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成 28 年 4 月 2 日	鴨居桜まつり	鴨居地区の地域課題及びその解決策を募るアンケート
5 月 26 日	県立霧が丘高校への出前授業	課題を解決する施策についてのグループディスカッション テーマ：商店街振興 講師：NPO 法人 僕らの一歩が日本を変える。
6 月 10 日	定例会議	前年度事業の報告及び決算・監査報告、今年度事業の計画及び予算案の審議
6 月 13 日	プロジェクト会議	12 人のプロジェクト委員（推進員から有志で募集）による、高校文化祭への出展内容の検討
9 月 11 日 10 月 30 日	県立霧が丘高校・白山高校文化祭への英会話ブースの出展	外国人と英語で地域課題について会話をするブースを出展 連携：霧が丘インターナショナルコミュニティ（地域に住む外国人と日本人の交流を促進する団体）
9 月 26 日	プロジェクト会議	区民まつり、子育て世代向けイベントの内容検討
10 月 16 日	区民まつり	無料ボディペイント、ミライ年表、「投票用紙のヒミツを暴け」ゲーム
12 月 9 日	子育て世代向けイベント	食材選びと候補者選びのヒントを学んでもらうイベント 6 種の食材の食べ比べや、政治的関心分野を発見するワークショップを実施 連携：Tama cafe（中山駅付近のカフェ） 小澤由利子氏（マクロビオティック料理教室主宰）
平成 29 年 3 月 3 日	せんぎょフォーラム	地域課題をテーマとしたグループディスカッション中心のプログラム 対象：中山中学校 第3学年

開催月	事業名	事業内容
3 月	プロジェクト会議	今年度事業の振り返りと来年度事業の検討
通年	イコット通信の発行	協議会関係者と活動内容を共有 今年度から、HP でも公開を開始

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	長津田駅、十日市場駅、中山駅、鴨居駅において、計 60 名がティッシュ配りを実施



▲【子育て世代向けイベント】政治的関心分野を発見するワークの様子

青葉区

青葉区明るい選挙推進協議会は、「明るくきれいな選挙の実現」と「投票参加意識の向上」を目的に、今年度も様々な啓発活動を行っています。

7月に執行された第24回参議院議員通常選挙では、新たに製作した啓発物品「花の種」等を配布して、多くの方々に投票を呼びかけました。

また、いわゆる18歳選挙権を契機として、選挙や投票に関する座談会や文化祭へのブース出店等、高校生と直接交流して「生の声」を聴く機会を設けるよう努めました。

11月の「青葉区民まつり」では、フランクフルトの販売(選挙クイズ付き)、高校での座談会等から着想を得た若年層啓発に関するアンケート等を実施し、来場者への啓発活動を行いました。同月に開催した「青葉区明るい選挙推進協議会 推進委員・推進員研修会」では、18歳選挙権・主権者教育の専門家を講師に迎え、高校生4名も参加したパネルディスカッションを実施しました。参加者からは、「高校生の生の声を聴くことができる貴重な機会だった、若年層啓発のヒントを得られた」など大変好評でした。

11・1月には、小学6年生対象の「せんぎょフォーラム(出前授業・模擬投票)」を実施しました。

今後も、活動内容を掲載した「イコット通信」の発行や学校等への「投票器材貸出」等、引き続き投票参加につながる啓発活動を実施していく予定です。

▼ 青葉区民まつり 2016 にて



▲ 市ケ尾高等学校の文化祭に出店

▲ 研修会でのパネルディスカッション

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年5月	青葉区明るい選挙推進協議会 定例会議	前年度の事業実績・決算報告及び今年度の事業計画・予算審議を行いました。
7月～9月	高校生との選挙に関する座談会	テーマは「18歳選挙権」。選挙や投票に関する高校生の「生の声」を聴く機会を設けました。 開催日：(1)平成28年7月19日(火) (2)平成28年9月28日(水) 場 所：(1)市ケ尾高等学校 (2)元石川高等学校
9月	高校文化祭への出店	「同世代の投票率アップに必要なことは？」をテーマとした投票体験(202名が参加)、18歳選挙権や来夏の市長選に関するパネル展示、文化祭の人気投票のPR等を行いました。 開催日：平成28年9月11日(日) 場 所：市ケ尾高等学校
11月	青葉区民まつり 2016	フランクフルト販売(選挙クイズ付き)のブースを出店しました。また、若年層啓発に関するアンケート(746名が回答)、啓発物品の配布、マスコット着ぐるみ「えら坊」による会場巡回を実施する等、選挙啓発活動に取り組みました。 開催日：平成28年11月3日(火) 場 所：青葉区役所第1・2駐車場 参加者：38人(推進委員・推進員・事務局・市ケ尾中学校(引率教師・生徒))
11月	青葉区明るい選挙推進協議会 推進委員・推進員研修会	18歳選挙権・主権者教育の専門家や現役の高校生をお招きして研修会を開催しました。 開催日：平成28年11月12日(土) 場 所：青葉区役所4階会議室 講 師：西野 偉彦氏(慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員) ※パネルディスカッションには市ケ尾高等学校の生徒4名も参加 参加者：47人(推進委員・推進員・事務局)
12月	千葉県市川市明るい選挙推進協議会との意見交換会	市川市明推協より視察の依頼をいただき、当日は17名の方が来庁され、お互いの啓発活動に関する報告及び意見交換を実施しました。 開催日：平成28年12月1日(木) 場 所：青葉区役所4階会議室 参加者：8人(推進委員・推進員・事務局)

開催月	事業名	事業内容
11月～平成29年3月	せんぎょフォーラム	小学6年生を対象として、選挙への関心や知識を高めることを目的とした出前授業を実施します。あわせて、小学校生活最後の給食のメニューや卒業式の唱歌等をテーマとした模擬投票も行います。(※今年度は少なくとも5校で実施予定)
通年	企画運営チーム会議	明推協事業実施に際して、推進委員・推進員希望者で構成されたチームが主体となり、選挙やイベント時等の選挙啓発活動について、効果的な実施方法等の検討を実施します。(※7月に第1回開催。年2回を目安に実施予定)
年2回(9月・3月(予定))	イコット通信の発行	選挙啓発活動の周知を行うため、明推協の事業紹介や選挙結果報告等を掲載した機関紙を発行し、自治会町内会での回覧依頼等を行います。
通年	投票器材貸出	選挙についての理解を深め、親しみを持ってもらうため、生徒会役員選挙や模擬選挙の教材として、区内の学校等に投票箱や記載台等の貸し出しを行います。(※12月までにのべ19校へ貸し出し。うち参院選の模擬選挙のための貸し出しは4校)
通年	啓発物品の購入	18歳選挙権の開始及び第33回全国都市緑化よこはまフェアにあわせて青葉区で実施される「フラワーネックレス青葉2017」事業の周知を図るため、「広告入り花の種」を新規に製作し、街頭啓発やイベント等で配布しました。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	駅構内でプラカードやのぼり旗を掲げ、啓発物品(ポケットティッシュ・花の種)を配布しながら、投票日・期日前投票等の周知、投票参加の呼びかけを行った。 実施日：(1)平成28年7月2日(土) (2)平成28年7月3日(日) 場 所：(1)あざみ野駅(2)青葉台駅 参加者：(1)40人(2)33人 (推進委員・推進員・事務局)

都 筑 区

都筑区明るい選挙推進協議会では、4月に明るい選挙推進協議会会議にて今年度の事業計画等について協議し、明推協委員26名、推進員351名と共に活動をスタートさせました。

5月には明るい選挙推進大会を開催し、埼玉大学社会調査研究センターの松本正生教授をお招きし、「18歳選挙権と選挙ばなれ」をテーマに、若年層・中高年層それぞれの選挙に対する意識についてお話を頂きました。

11月の都筑区民まつりではブースを出展し、選挙パネルクイズやイコットジュニアの着ぐるみによる横浜市長選挙の啓発活動を行いました。今回は明推協委員及び推進員に加え、新たに東京都市大学の学生の協力もあり、パネルクイズでは940名の方にご参加頂きました。

また、せんきょフォーラム事業として、10月に都筑区内の県立高校にて、参議院選挙、18歳選挙権をテーマに出前授業を実施しました。

12月には都筑区内の中学校の生徒会役員選挙について明推協委員、推進員が投票立会人として参加しました。同じく12月に小学6年生を対象として「小学校生活最後の給食」をテーマに模擬選挙を実施しました。この模擬選挙では実際の選挙器材や使うことで、より本物の選挙に近い形の投票、開票を体験してもらうことができました。

今年度は選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを受け、若年層啓発の一環として、大学やNPO法人と連携して活動しました。

▼ 茅ヶ崎東小学校での模擬投票



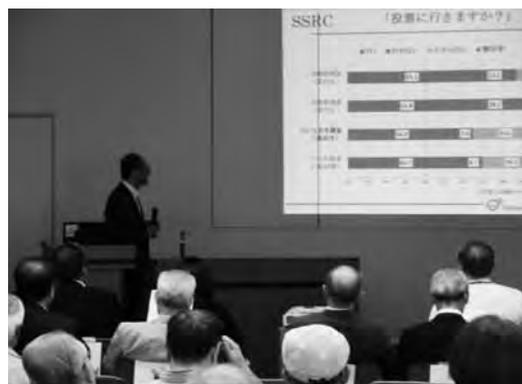
●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年4月	都筑区明るい選挙推進協議会会議	前年度の事業内容を振り返り、平成28年度事業計画について協議を行う。
5月	都筑区明るい選挙推進大会	明るい選挙の実現及び投票参加の推進の活動方針の確認と講演会を開催。
8月	明推協PR事業	「星空のコンサート」に協賛し、明推協PRのぼり等による選挙啓発を実施。
8月、3月	明推協だより(つづき区版)の発行	明推協の機関紙として、推進委員・推進員に活動内容等を報告。
10月	せんきょフォーラム	都筑区内の県立高校で出前授業を行い選挙について理解を深めてもらう。
11月	都筑区民まつり参加	都筑区民まつりにおいて明推協のブースを設け、大学生にも協力してもらい、選挙啓発及び明推協のPRを実施。
12月	せんきょフォーラム	都筑区内の中学校の生徒会役員選挙を明推協委員、推進員と共同で実施。また小学6年生に対し、「小学校生活最後の給食」をテーマに模擬投票を行い、選挙について関心をもってもらう。
平成29年3月	若年層啓発(NPO法人との連携)	毎年3月に都筑区内で行っているイベントの一つである「ミニヨコ市長選挙」について後援する。
年間	若年層啓発(東京都市大学との連携)	メディア情報をテーマとするゼミに所属している教授、学生と共に都筑区民まつり、出前授業、ディスカッションを通じ、若年層啓発のあり方について考える。
年間	地区協議会企画事業	地区協議会ごとに啓発・研修事業を展開するとともに、メモ帳等の啓発物品を各地区において配布し常時啓発を行う。
年間	未来の有権者育成事業	生徒の選挙についての理解を深めるため、区内小、中及び高等学校の生徒会役員選挙に投票器材等の貸出しを行う。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	センター北駅前及びセンター南駅前にて計15名の明推協委員で街頭啓発を実施。また各地区協議会においても独自で街頭啓発を実施。

▼ 明るい選挙推進大会における講演会



▲ 都筑区民まつりの啓発ブース

戸塚区

戸塚区明るい選挙推進協議会は、明るい選挙の実現と区民の積極的な投票参加を目指し、十三人の推進委員と三十九人の推進員が、三つの部会にわかれ、それぞれアイデアを持ち寄って月に一度のペースで会合を開き、区民まつり、イコト映画会、講演会など、様々な啓発事業に取り組んでいます。

5月には、西野偉彦先生をお招きし、今年の参議院選挙から適用された「18歳選挙権」や主権者教育に関する講演会を開催しました。

また、10月には明推協のメンバーとして選挙に関する知識を向上するため、推進員・推進委員向けに「明るい選挙研修会」を開きました。区統計選挙係長から参議院選挙の結果や、選挙に関する基礎知識などの解説のほか、若年層に選挙への興味を持ってもらうための取り組みについての講座を実施しました。

「戸塚ふれあい区民まつり」では、啓発グッズの配布やキャラクター人気投票を実施し、幅広い年代への啓発に努めました。実際に選挙で使っている記載台や投票箱を使用し、戸塚区や横浜市に関係あるキャラクターの中からお気に入りのものを選んでいただくという子どもから大人まで楽しめる模擬投票となりました。

2月12日には「イコト映画会」が開催されます。今年は子どもから大人まで楽しめる「パディントン」を上映し、併せて毎年恒例となっている「せんきょ川柳コンテスト」も実施します。

また生徒会選挙等への投票器材の貸出なども行い、区内ほとんどの中学校が利用しています。今年度は参議院選挙の模擬投票のため、区内の高校にも多数利用されました。

今後も、推進委員、推進員で力を合わせて、啓発効果の高い内容を検討し、自主的な啓発活動に取り組んでいきます。

▼ 明るい選挙講演会



▲ 戸塚ふれあい区民まつり

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
通年	明るい選挙ライブラリー事業	選挙啓発に関する教育器材をそろえたライブラリーを整備し、推進員の出身団体において身近な生活の話題から政治や選挙について意見交換を行う活動に対し、ビデオや冊子等の教育器材の貸出しを行いました。
	『未来の有権者』育成事業	区内中学校・高校を対象に、生徒会選挙等でより実際に近い選挙を体験してもらうため、投票箱や記載台等、器材の貸出しを行いました。
平成 28 年 5 月	選挙啓発講演会	7月の第24回参議院議員通常選挙を前に、有権者や教育関係者の理解を深めるため「18歳選挙権」に関する講演を開催しました。 日時：5月29日 場所：戸塚区役所8階大会議室 講師：西野偉彦（慶應義塾大学 SFC研究所 上席所員）
10 月	明るい選挙研修会	推進委員・推進員を対象に、選挙に関する知識をより深めるとともに、参院選の結果を振り返り、今後の啓発活動をより効果的に行うため、研修会を開催しました。
11 月	戸塚ふれあい区民まつり	来場者に対して、明推協活動の紹介を行うとともに、幅広い層に投票への関心を持ってもらうため、市や区の Mascot キャラクターを候補にして、子どもから大人まで参加できる「模擬投票」を行いました。 日時：11月3日 場所：東戸塚小学校
平成 29 年 2 月	とつかイコト映画会事業	来場者に対して、啓発グッズを配布し、明推協活動の紹介とイコトちゃんとの記念撮影、「せんきょ川柳」コンテストなどを実施します。

開催月	事業名	事業内容
6月、9月、12月、3月	明推協通信	日時：2月12日 場所：さくらプラザホール 作品：『パディントン』 推進委員・推進員を対象に明推協の機関誌を発行。年4回。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコト」	投票参加に関する呼びかけとポケットティッシュの配布を行いました。特に今回は臨時期日前投票所が変更になるため、従来からの戸塚駅に加え、東戸塚駅でも実施しました。 第一回 日時：6月25日（土） 午前10時～午前11時 場所：東戸塚駅東西自由通路及び西武東戸塚店入口付近 参加人数：10名 第二回 日時：7月2日（土） 午前10時～午前11時 場所：戸塚駅橋上改札付近及び地下通路 参加人数：18名
	西武東戸塚店における懸垂幕掲出	臨時期日前投票所を西武東戸塚店に設置したことをPRするため店舗に懸垂幕を掲出しました。 期間：7月2日（土）から7月9日（土）

栄区

栄区明るい選挙推進協議会では、「きれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を目指して、各種事業を実施しています。

推進大会では、研修を兼ねた講演会にNPO法人 YouthCreate 代表の原田謙介氏をお招きし「18歳選挙権時代のつくり方」と題して、若者にとって政治を身近なものにする方法の提案や、主権者教育の担い手を増やすことへの想いをお話いただき、大変参考となりました。

また、公職選挙法の改正により選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、県立高校において、選挙概要の解説や模擬投票を実施し、選挙への理解を深める一助としました。

「栄区民まつり」の似顔絵イベントでは、区のキャラクター等を候補者として、投票箱等を使用した模擬投票を体験いただきました。

横浜市民防災センターにて実施した施設見学研修会では、実際に横浜市が岩手県大槌町へ職員による支援を行った事例を紹介し、災害時における選挙活動について啓発を行いました。

2・3月には、中学3年生を対象とした「せんきょフォーラム」、青少年を対象とした「SAKAEヤングフェスティバル」に参加して啓発を実施する予定です。



▲ 区民まつり 模擬投票



▲ 施設見学研修会

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
5月19日(木)	栄区明るい選挙推進大会	推進委員・推進員の方を対象に、第一部を大会として、平成28年度の事業計画や栄区明るい選挙推進員の主な役割について説明し、また、第二部では、研修を兼ねた講演会を実施しました。 講師：原田 謙介 氏
11月5日(土)	栄区民まつり	似顔絵ブースを出展し、来場者へ似顔絵と啓発物品(ウエットティッシュ)をプレゼントするとともに、選挙機材を用意し、模擬投票を体験していただきました。 場所：本郷中学校
12月9日(金)	推進委員・推進員研修	推進委員・推進員の連携を深め、明るい選挙推進運動の理解を深めるため、研修を兼ねた施設見学会を実施しました。 場所 横浜市民防災センター
平成29年2月23日(木)(予定)	せんきょフォーラム	開催校の中学三年生を対象に選挙の大切さについての講座と模擬投票を実施します。 場所：本郷中学校
平成29年3月19日(日)(予定)	SAKAEヤングフェスティバル	将来の有権者である区内の青少年を対象としたイベントにて、啓発物品を配布します。
通年	投票機材の貸出	区内の学校で実施される生徒会役員等の選挙に際し、投票機材を貸出しました。
	啓発物品の作成	区制30周年とあわせた選挙啓発物品(ウエットティッシュ)を作成し、各種イベント等で配布しました。 また、自治会町内会などのイベントにおける選挙啓発用に選挙啓発エコバックを作成し、配布しました。
年3回	イコット通信の発行	協議会活動の周知・組織の連携を図ることを目的として発行。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	啓発物品を配布しながら、投票参加を呼びかける街頭啓発を実施しました。 日時：平成28年7月3日(日) 場所：JR本郷駅前



▶ 啓発物品エコバック

泉 区

泉区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目指して、様々な啓発活動に取り組んでいます。

5月には、明るい選挙推進のためのハンドブックをテキストに、推進員を対象とした「泉区明るい選挙推進研修」を2回開催しました。11月には「泉区民ふれあいまつり」において啓発ブースを出店しました。

将来の有権者に向けた啓発事業としては、公職選挙法の改正により、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、新規に泉区内の全ての高校の文化祭への啓発ブースの出店を実施しました。

また、1月には中学3年生を対象とした民主主義と選挙のクイズ「あと3年」を配付したほか、1月から2月にかけて小学6年生を対象に各学校が設定したテーマによる模擬選挙を行う「せんぎょフォーラム」を区内10校で実施しています。

3月には、投票率の向上を目的とした「わいわいファミリーフォーラム」を実施し、啓発パネルの設置や選挙啓発動画や家族で楽しめるアニメ映画を上映します。

その他、イベント等での啓発物品の配布、生徒会選挙への投票器材の貸出などの啓発活動を実施しています。

泉区は平成28年11月に区制30周年を迎え、1年を通じて様々な記念イベントを開催しました。そのうち8月の「泉区子どもアドベンチャー」では、キャラクターの人気投票をはじめ、開票イベントや計数機操作体験コーナーを設置し、子どもたちに向けた選挙啓発を実施しました。

▼ 子どもアドベンチャーの様子



▲ 泉区民ふれあいまつりでの啓発ブースの様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年 5月14日・21日	明るい選挙推進研修	参加者合計18人
8月17日	定例委員会	平成27年度決算報告、平成28年度事業経過報告、第24回参議院議員通常選挙結果報告。
同日	泉区子どもアドベンチャー	啓発ブースを出店し、計数機操作体験コーナーやキャラクターの人気投票及び開票イベントを実施。
9月～11月	高校文化祭啓発	区内4校で啓発ブースを出店し、選挙クイズなどを実施。啓発物品を配布。
11月3日	泉区民ふれあいまつり	啓発ブースを出店し、選挙クイズや輪投げ、フェイスペインティング、パネル展示と、大人から子どもまで楽しめるブースを運営。啓発物品を配布。
平成29年 1月	民主主義と選挙のクイズ「あと3年」	中学3年生を対象に、社会科副教材「あと3年」を基にしたクイズを配付。回答する過程を通じて民主主義と選挙の基礎知識の普及を図る。
1月～2月	せんぎょフォーラム	区内の小学6年生を対象に選挙の講義と模擬選挙による体験学習を併せた出前授業を実施。(10校)
3月5日	わいわいファミリーフォーラム	映像による選挙に関する投票参加の呼びかけや映画の鑑賞、選挙に関するパネル展示及び明推協のPRを実施予定。
通年	明推協だよりの発行	推進委員及び推進員向けに事業の計画や活動報告等を掲載した機関紙を年4回発行。
通年	投票器材の貸出	区内の中学校で行われる生徒会選挙に際し、投票器材の貸出を実施。
通年	啓発物品の作成・配布	啓発物品を作成し、イベント等で配布。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	立場駅、中田駅、緑園都市駅及びいずみ野駅の計4か所で実施。推進委員・推進員・中学生ボランティア、延べ46人が参加し、啓発用ティッシュを配布し、投票参加の呼びかけを行った。
	広報よこはま泉区版による啓発	広報よこはま泉区版(6月号)に期日前投票所の日時・場所等を中心に掲載し、PRを行った。
	啓発文の掲出	庁内の電光掲示板を利用して、期日前投票と投票日の周知を行いました。また区ホームページで啓発バナーを掲出しました。
	広報車の重点的な巡回	庁用車を活用し、巡回しながら選挙のPR放送をしました。
	自治会町内会を經由した啓発	各自治会町内会の掲示板に啓発ポスターを掲出するとともに、チラシの回覧をしました。
	区役所内啓発	庁舎に懸垂幕を掲出しました。

▶ 駅前啓発(中学生ボランティア)の様子



瀬谷区

瀬谷区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と区民の投票参加の促進を目的として各種啓発活動を行っています。

今年度は7月に執行された第24回参議院議員通常選挙に伴い、区内各地で街頭啓発活動を行いました。翌月は「明るい選挙こども映画会」を開催し、映画『ミニオンズ』を上映しました。同時に行った選挙啓発アニメDVDの上映やアンケート用紙の投票箱への投函を通して、親子で選挙への関心を高める機会となりました。

10月には「投票にイコット!キャンペーン2016」の一環として「瀬谷フェスティバル」に瀬谷区明るい選挙推進協議会のブースを出店しました。選挙パネルを展示するとともに、選挙クイズを実施し、幅広い年代に向けて啓発活動を行いました。さらに来年度執行予定の横浜市長選挙を周知するため、啓発物品の配布も併せて実施しました。

2月には、区内の小学校6年生を対象として「せんきょフォーラム」を実施します。選挙についての講義と併せて、投票から開票までの流れを児童に体験してもらい、選挙に対する関心を引き出します。

3月には、「推進員研修会」を開催し、政治・選挙関連施設の見学と意見交換を行い、推進員の交流を図る予定です。

▼ 明るい選挙こども映画会



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成28年5月	明るい選挙推進協議会定例会議	前年度の事業実績、決算報告及び当該年度の事業計画案、予算の審議を行った。
8月	明るい選挙こども映画会	区内の幼児、児童とその保護者を対象に映画と選挙啓発アニメDVDの上映を実施。上映：『ミニオンズ』会場：瀬谷公会堂参加人数：約200人
10月	瀬谷フェスティバルにてブース出店	「瀬谷フェスティバル」に明推協ブースを出店し、選挙啓発活動を実施。会場：旧上瀬谷通信施設はらっぱ参加人数：約800人
平成29年2月	せんきょフォーラム	区内小学校にて出前授業を行い、投票から開票までの流れを児童に体験してもらう。実施予定：原小学校、瀬谷さくら小学校
3月	推進員研修会	政治・選挙関連施設の見学と意見交換を行う研修会を実施予定。
通年	投票器材貸出し	区内の学校で行われる生徒会選挙等の際に、投票器材の貸出を実施。今年度実績（見込み）：13団体
年3回	イコット通信発行	事業の内容や選挙に関するコラム等を掲載した機関誌を発行。 主な内容 9月：今年度事業計画について、第24回参議院議員通常選挙について 11月：瀬谷フェスティバルについて 3月：発行予定
年3回	地区代表者会議	全12地区の代表者との連絡・協議の場として地区代表者会議を開催。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参議院選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	駅頭・商店街ほか各地区で、啓発物品を配布し、投票参加を呼びかけた。活動場所：三ツ境駅、瀬谷駅ほか区内全域参加人数：201人



▲ 瀬谷フェスティバルにて

選挙権年齢の18歳以上への引下げによる取組

教育委員会との主権者教育における連携・協力に関する協定の締結

これまで横浜市選挙管理委員会と横浜市教育委員会では、市立学校での主権者教育の推進のための取組を行ってきましたが、選挙権年齢を18歳以上に引き下げる公職選挙法の一部改正を機に、より相互の連携・協力を強化し、学齢期を含む若年層への主権者教育の推進を図っていくために、平成28年1月8日に協定を締結しました。

1 協定の目的

市立学校における主権者教育の推進により、児童・生徒の政治的教養を育み、主権者として政治参加の促進に貢献することを目的とし、相互に連携・協力して取り組むため協定を締結しました。

2 協定締結日：平成28年1月8日

3 協定に基づいた取組み

(1) 市立小学校

参加体験型の選挙学習：給食選挙等を行う学校への出前授業、区選管からの投票機材貸出。

(平成28年度実績)

小学校(341校中)40校実施

中学校(146校中)20校実施

※順次、小学校を中心として実施

(2) 市立中学校

ア 生徒会役員選挙における選挙学習：生徒会役員選挙のマニュアルを教育委員会協力のもと市選管が作成、区選管での投票機材の貸出周知とともに各中学校に配布。

イ 中学3年生用社会科副教材「あと3年」の発行

ウ 中学校が実施する職場体験・インタビューなどへの市・区選挙管理委員会の協力。

(3) 市立高校

ア 大学教員による特別授業の実施。

※実施校 平成28年度2校

平成27年度6校

イ 模擬選挙

※実施校 平成28年度 推進校2校

ウ 副教材「私たちが拓く日本の未来」の活用

(4) 市立特別支援学校 各校の実情に応じて実施



▲協定書の写し



▲中学3年生用社会科副教材「あと3年」

<家庭や地域の関係団体との連携・協力>

協定書に基づく事業の実施にあたっては、その事業効果を高めるため、事業内容を保護者、PTA及び地元町内会等に、十分説明すること等を通じ、家庭や地域の関係団体からの連携・協力を得る。

横浜市 今年度の事業

●横浜市明るい選挙推進協議会事業

事業名	内容	備考
研修等事業	区明推協委員・推進員を対象とした明るい選挙推進研修会・推進大会の開催を通じて、推進員のスキルアップや明るい選挙と投票参加についての意識高揚を図りました。 1 市・区明るい選挙推進協議会会長会議 平成29年2月2日 会場 関内ホール 地下2階会議室 2 市・区明るい選挙推進大会 平成29年2月2日 会場・関内ホール 大ホール	市・区推進大会 決議文採択・記念講演・活動報告
将来の有権者及び若年層向け啓発事業	将来の有権者の意識啓発を図るため、小学校、中学校、高校の生徒会役員選挙や出前授業・特別授業の支援、横浜市若者選挙啓発団体イコットプロジェクト(以下イコットプロジェクト)の若年層啓発事業を支援しています。	1 生徒会役員選挙支援物品の製作 2 イコットプロジェクト活動支援
(公財) 明るい選挙推進協会連携事業及び市・区明推協連携事業	(公財) 明るい選挙推進協会が主催する事業に参加します。また、区明推協の常時啓発でその内容において共催することが望ましい事業を共同で実施し、市民に明るい選挙の推進を訴えています。	1 (公財) 明るい選挙推進協会連携事業 各種フォーラム 2 市・区明推協連携事業
明るい選挙推進のためのハンドブックの発行	明推協委員・推進員を対象に、明るい選挙推進運動に携わる際の、地域での啓発などを目的に、活動に際し必要な事項を分かりやすくまとめた手引書を発行し、全推進員に配布しています。	発行予定数 3,500冊
白バラよこはま (No.47) 発行	市及び区で実施する各種啓発事業紹介、寄附禁止等を掲載した機関誌を作成し、市・区明るい選挙推進大会等で関係者に配布しています。	発行部数 2,500部

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発事業

事業名	内容	備考
選挙管理委員会単独事業	若者間で普及しているツイッターを活用し、タイムリーで効果的な情報発信を行っています。定期発信のほか、区・市選管での啓発時等随時発信しています。	定期ツイート (発信日)：火・木曜日
選挙啓発冊子「横浜はたちブック」	新成人にとって必要な選挙の知識、選挙のルール、市政に関する情報のほか、若者の生活様式や感覚に即した情報を掲載した冊子「横浜はたちブック」を作成し、市内の新成人の有権者全員に郵送しました。	郵送対象者：35,184人 郵送時期：12月初旬
「成人の日」を祝うつどい	「成人の日」を祝うつどい会場正面の大型LEDスクリーン、会場での映像放映や場内放送、当日配布冊子で、新成人に選挙の重要性や投票参加を呼びかけました。	実施：平成29年1月9日(月・祝) 会場：横浜アリーナ 対象：36,220人
将来の有権者への啓発事業	教育委員会と連携し、市内中学校の3年生全員に、選挙や政治の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと3年」を配布し、学校教育の中で将来の有権者となる中学生に啓発を行っています。	中学校配送：28年9月 市内中学3年生 約34,000人
選挙制度等の広報	選挙管理委員会ホームページを活用して、選挙制度の周知を進めています。法改正等を反映した内容へのリニューアル等を実施し、対象者への積極的な広報を実施しています。	実施：通年
市明推協との連携事業	将来の有権者向けに、学校と区・市選管、区明推協が協働し、受講者参加型の出前型授業を実施しています。また、昨年度に引き続き、大学教授による「特別授業」を市立高校で実施しています。	実施：通年 会場：各区学校等 特別授業：市立高校(2校予定)
2017年夏は「横浜市長選挙」～投票にイコット！キャンペーン～	今年の夏に執行される横浜市長選挙に向け、28年9月から11月までを啓発強化期間として、近年低下傾向にある投票率向上のためのキャンペーンを区・市、日本赤十字社が連携して実施。18区でさまざまな啓発イベントを実施するとともに、11月には横浜駅献血車会場にて日本赤十字社との連携啓発を行いました。	「ポスター」、「のぼり旗」、「ウェットティッシュ」を共通デザインで製作。
啓発パネル掲出	きれいな選挙と投票参加の呼びかけを図るため、利用者の多い市営地下鉄ターミナル駅を中心とした6駅(あざみ野・センター南・横浜・関内・上大岡・戸塚)に選挙啓発パネルを掲出します。なお、選挙時やキャンペーン時等には内容を変えて掲載しています。	地下鉄改札口付近 6駅7枚(通年)
市明推協関連	明るい選挙推進大会開催の後援・区明るい選挙推進研修会等開催の支援	
明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区の明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施する行事、イベント等の活動に対して補助を行うとともに、イコットプロジェクトの啓発事業に対しても、引き続き支援しています。	

平成28年
7月10日執行

参議院議員通常選挙 啓発事業実績

平成28年7月10日、参議院議員通常選挙が行われました。

市内公共機関・駅前・自治会町内会掲示板等にポスターや看板・横断幕などを掲出し、街頭啓発「ザ・イコット」等で積極的な投票参加と美しい選挙を呼びかけました。

本市の神奈川県選出議員選挙の投票率は56.53%となり、前回（平成25年7月25日執行55.54%）より0.99ポイント上回りました。

また、今回の参院選では選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、18歳と19歳の有権者にとって初めての国政選挙となりました。10代の投票率は、神奈川県選出議員選挙が56.56%となり、市平均を0.03ポイント上回るとともに、政令市20都市の中ではトップとなりました。

横浜市内では初となる大学への期日前投票所を慶應義塾大学日吉キャンパス協生館（港北区日吉）に設置し、大学生を含む、多くの有権者に利用していただきました。



▲ 市庁舎横断幕



▲ 啓発物品



▲ 期日前投票所（慶應義塾大学）啓発チラシ

第24回参議院議員通常選挙 啓発事業実績

実施項目	数量	内容	実施期間	
看板・幕・ポスター類	看板・横断幕・懸垂幕	20枚	市・区庁舎に看板・横断幕・懸垂幕を設置	6/22~7/10
	ポスター	約23,200枚	自治会町内会掲示板、郵便局、市営地下鉄駅、市・区庁舎等公共機関等に掲出（県選管作成ポスターを活用）	6/22~7/10
	公営ポスター掲示場を利用した啓発	4,718箇所	公営ポスター掲示場を利用し、投票日、投票時間の案内を表示	6/22~7/10
移動型広報・広告	ゴミ収集車	約1,200台	巡回中に、投票日・期日前投票制度周知の啓発文を放送	6/22~7/9
	公用車	約200台	公用車等を活用して、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送	6/22~7/10
世帯啓発	広報よこはま市・区版	約150万部	広報の市版・区版の紙面を活用した選挙周知	6月号
	「投票のご案内」同封用啓発チラシ	約180万部	「投票のご案内」に啓発チラシを同封	6/22~
放送等	市広報番組	2番組	t v k「ハマナビ」（テレビ神奈川）FM Yokohama「ヨコハマ・マイチョイス！」	7/2・7/9 7/3・7/10
	市・区庁舎等	市役所・18区役所	市・区庁舎等で投票参加の呼びかけを放送	6/22~7/8
	電光掲示板	19施設	区戸籍課窓口・市庁舎等電光掲示板での広報	6/22~7/8
	文字放送	1社	t v kデータ放送横浜市情報での広報	6/22~7/10
ホームページ	選挙案内ページの作成	19日間	投票日や期日前投票を周知する特設ホームページを開設	6/22~7/10
	ツイッターによる情報提供	随時	選管アカウントによる選挙関連情報の周知	随時

実施項目	数量	内容	実施期間	
大学・高校等啓発	大学・高校・特別支援校での啓発ポスターを掲出	49校	市内大学・市立高校・特別支援学校にて投票参加を呼びかけるポスターを掲出（県選管作成物を活用）	6/22~7/10
	大学のホームページへのPRバナー掲載	5校	市内協力大学が管理するホームページ（ポータルサイト）に啓発広告を掲載	6/22~7/10
	大学構内での臨時期日前投票所の周知	3校	慶應大学及び近隣高校にて、臨時期日前投票所設置についての啓発チラシを配付	6/22~7/5
	18歳選挙権啓発横断幕の掲出	22校	市立高校・特別支援学校での18歳選挙権啓発横断幕の掲出（県選管作成物を活用）	6/22~7/10
高校生の投票事務従事	5校57人	市立高校生生徒による投票所での事務従事を実施	7/10	
日本赤十字社	献血ルームでの啓発	献血ルーム（4施設）	市内献血ルーム内でのポスター掲示、マスコット展示、啓発物品配布（二俣川、横浜駅東口、横浜駅西口、横浜駅Leaf）	6/28~7/10
	かながわ赤十字情報プラザ	1施設	ポスター掲示、マスコット展示、啓発物品配布（横浜市中区）	6/28~7/10
街頭啓発	「ザ・イコット」	18区	各区地域などを単位として数人のグループを編成し、区内の主要繁華街、駅頭などでの街頭啓発や、それぞれの場所を起点として場所を移動しながら、投票参加の呼びかけを実施。	6/22~7/9
	ポケットティッシュ	約170,000個	各区街頭啓発等での投票参加の呼びかけに活用	6/22~7/10
ブラカード	約80本			
啓発物品・資材	卓上マスコット	約230個	区役所、地区センターなど市民利用施設の窓口に設置	
	イコットぬいぐるみ（着ぐるみ）	19体	市及び各区に1体	随時
	イコットパチンコ人形	19体	市及び各区に1体	



▲ 選挙啓発冊子「横浜はたちブック」



▲ せんきょフォーラム「市立戸塚高校定時制での模擬投票」



▲ 投票にイコット！キャンペーン

生涯にわたる主権者教育 連続講座

今夏の市長選も見据え、幅広い世代を対象に、政治と選挙をテーマとする計2回の連続講座を実施しました。

昨年7月に行われた参議院選挙では、新有権者18歳・19歳の投票率が、市全体で56.56%となり、政令市20都市の中で1位となりました。(市全体の投票率は56.53%)このうち18歳投票率は60.72%の高い投票率となりましたが、19歳投票率は52.49%で市全体の投票率を下回る結果となりました。

このことから、対象に当初目的の幅広い世代に加え、19歳の大学生を含む層へのアプローチが必要と考え、週末の日中に交通利便性の良い区役所と、平日夕方の大学を会場として実施しました。

第1回のテーマは「地域を舞台に考える主権者教育」として平成28年12月3日(土)、戸塚区役所8階会議室にて実施しました。

また、第2回のテーマは「若者世代と考える主権者教育」として12月15日(木)、慶應義塾大学日吉キャンパス協生館にて実施しました。

講座はそれぞれ3部構成となっており、第1部では市選管選挙課長による、横浜市の投票率の現状、投票率向上に向けた横浜市のこれまでの取り組みと今後の課題などについて、ミニレクチャーを実施しました。



第2部ではNPO法人Youth Create代表の原田謙介氏(以下原田氏)をコーディネーターとする各回3人のパネラーとのパネルディスカッションを以下のとおり実施しました。

(1) 第1回

学校だけではなく、身近な地域のコミュニティにおいて、主権者教育を育むための様々な観測や実践例、今後の展望等について、横浜市青年団体連絡協議会の浅井 正美会長(横浜市明るい選挙推進協議会会長)、横浜市戸塚高校定時制の小市 聡校長代理、KURASOU.の藤岡 聡子代表の3人を招き、「地域での活動の中で感じる選挙・政治との関係性」などについて、パネルディスカッションを実施しました。



(2) 第2回

実際に主権者教育や選挙啓発を行っている若者の実践者3人を招き、高校生・大学生等の若年層の主権者教育意識について、NPO法人僕らの一歩が日本を変えろ。古井 康介ディレクター、藤嶺学園藤沢高校3年緑川 航平さん、横浜市若者選挙啓発団体「イコットプロジェクト」山田 風紗代表の3人を招き、「今後、さらに若者と政治をつなぐために必要なことは何か」などについて、パネルディスカッションを実施しました。



その後、第3部では会場の参加者・パネラー等との意見交換会を実施しました。

<アンケートによる主な意見>

【第1回】

- ・学校(教育)だけが主権者教育ではない、親の世代へのアプローチ、政治家と対等に接することなどが参考になった。
- ・こういった取り組みを広げていくことが、主権者教育の方向性を定めていくことに繋がるのではないかと考えた。

【第2回】

- ・若者と地域の方たちにこれからこのような意識の高い意見交換ができる場を増やしてほしい。
- ・若者たちがこのような活動をしていることを初めて知った。これからも広めていけるようお願いします。地元、地域と一緒に活動出来ればと思います。

ご参加、ご協力ありがとうございました。

横浜市・区明るい選挙推進大会 開催（平成 27 年度）

横浜市・区明るい選挙推進大会は、横浜市・区明るい選挙推進協議会関係者が一堂に会し、明るい選挙と投票への参加を広く市民運動として展開することを確認し合う機会として開催しています。

平成 28 年 1 月 26 日（火）、横浜関内ホール 大ホール（中区住吉町）にて、「平成 27 年度横浜市・区明るい選挙推進大会」を開催しました。なお、司会は戸塚区明るい選挙推進協議会会長の齋藤会長に務めていただきました。



第一部の式典では、浅井会長の挨拶に続いて、来賓として横浜市の渡辺副市長、横浜市町内会連合会の佐々木会長、横浜市選挙管理委員会の藤代委員長より祝辞をいただき、栄区明るい選挙推進協議会の白井会長による、決議文採択が行われました。

続いて第二部では、明治大学文学部教授の 齋藤 孝氏により「投票意識を高める教育」をテーマに記念講演が行われました。

齋藤氏は、大学教授のほかにもコメンテーター等で活躍されていることもあり、選挙権の歴史や新聞購読の重要性など、お話の内容もわかりやすく、参加者からも好評をいただきました。



さらに、第三部では緑区・泉区・瀬谷区の明るい選挙推進協議会から、活動報告がありました。

いずれも特色のある啓発実施の紹介に、日頃啓発を実施いただいている参加者から、工夫についての共感や参考になったとの声が寄せられました。



このほか会場には、18 区の明るい選挙推進協議会の啓発活動を紹介したパネルや、啓発物品が展示されました。



<配付資料ほか>

白バラよこはま 46 号・記念品（ソーラー & ダイナモ LED ライト）



<アンケートによる主な意見>

【開催時期等】

- ・月末は行政関係の集まりが多く、月初の開催を望みます。
- ・より交通の便の良い、バリアフリーの会場を考慮してほしい。

【記念講演】

- ・男女平等の投票権が取得された歴史的説明もあり、再認識できました。
- ・家族間で新聞の内容を話し合う機会を持ちたいと思いました。
- ・小学生のうちから、自然な形で「投票に行く」ことに繋がる、明推協の活動にあった内容でした。

【活動報告】

- ・大学生も協力し啓発を実施している区に感心しました。
- ・未来の有権者育成に活動していることが印象的でした。

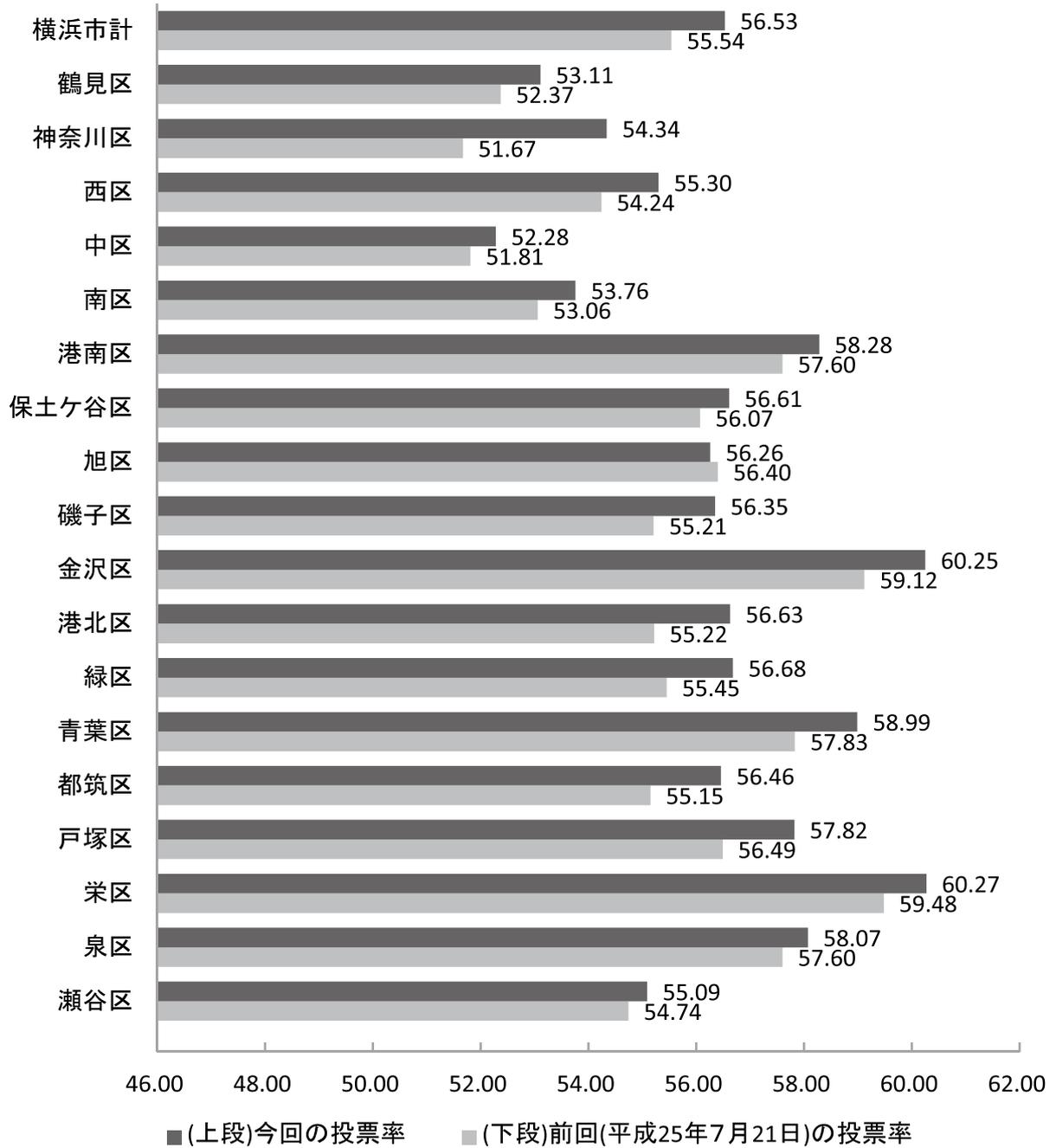
【地域の中での有効な活動】

- ・一票の大切さの PR が必要と考え、地域のニュース広報に掲載したいと考えています。
- ・保育園や幼稚園での若い親の集う場所での啓発も良いと思います。

ご参加・ご協力ありがとうございました。

第24回参議院神奈川県選出議員選挙

<行政区別投票率(%)>

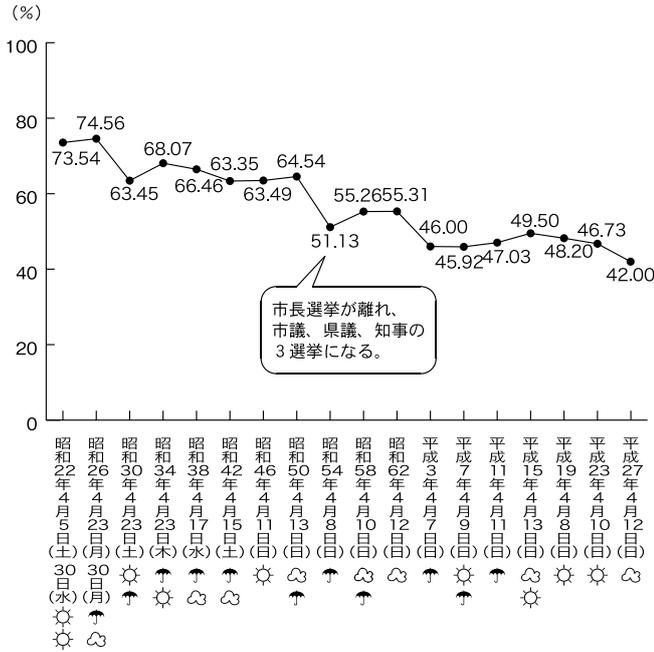


各選挙における投票率の推移

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も有権者の積極的な投票参加を推進していきましょう。

統一地方選挙

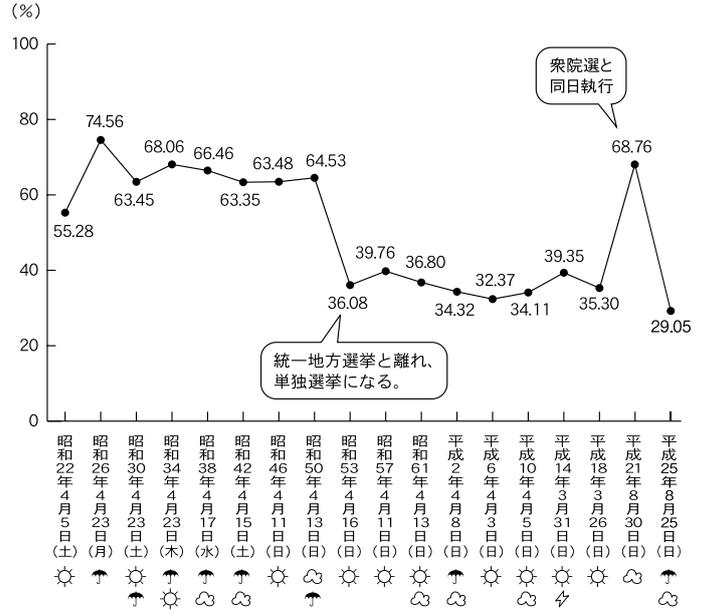
(数値は市議会選挙のもの)



市長選挙が離れ、市議、県議、知事の3選挙になる。

市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)



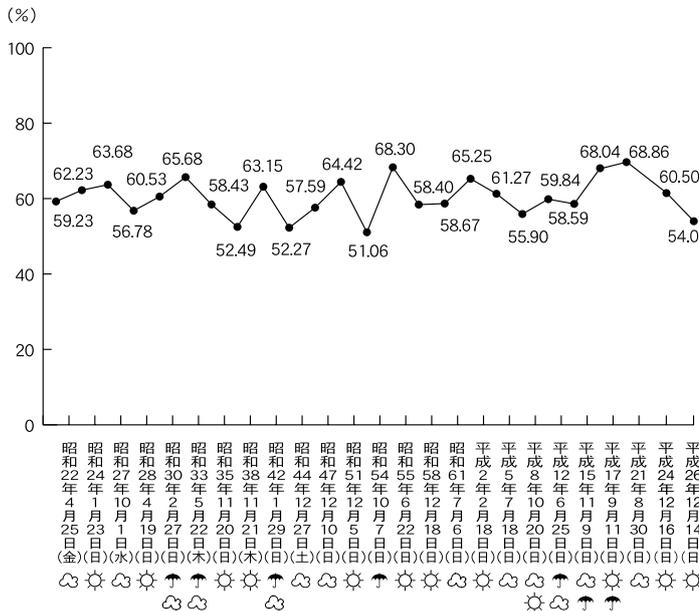
統一地方選挙と離れ、単独選挙になる。

衆院選と同日執行

注) 第一回統一地方選挙 昭和22年4月5日 市長・県知事選挙
 第二回統一地方選挙 昭和26年4月23日 市議会・市長選挙
 昭和27年4月30日 市議会・県議会選挙
 昭和30日 県議会・県知事選挙

衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)

